



平成 27 年度 9 月補正予算（案）の概要

1 補正予算の概要

今回の補正予算は、当初予算編成以後の情勢変化により、真に予算補正を必要とするもの、及び当初予算、6 月補正予算において調整する必要があったもので、一定の整理がついたものについて予算補正を行っています。

また、4 月 1 日付け人事異動に伴う人件費の予算調整や過年度分の事業費精算に伴う各種返還金を計上していることから、一般会計のほか、全ての特別会計において補正予算を計上しています。

一般会計の主なものでは、県補助事業を活用した「やまぐち森林づくり県民税事業」、「俵山地域拠点整備事業」や国委託事業の「生活習慣マネジメント・サポート事業」などの経費を新たに計上しています。

2 補正予算の規模

I 歳入歳出予算補正

➤一般会計 163,793 千円

※うち人件費 7,231 千円、各種返還金 63,113 千円、他会計繰出金等 18,190 千円

➤特別会計 129,794 千円

※うち人件費 19,355 千円、各種返還金 109,114 千円

■財源内訳

(単位：千円)

	事業費	国庫	県費	市債	その他	一般財源
一般会計	163,793	1,558	56,079		▲261	106,417
特別会計	129,794	2,026	▲237			128,005
合計	293,587	3,584	55,842		▲261	234,422

■予算額累計

(単位：千円)

	予算現計	今回補正額	補正後予算額
一般会計	21,281,686	163,793	21,445,479
特別会計	13,485,688	129,794	13,615,482
合計	34,767,374	293,587	35,060,961

3 補正予算計上の主な事業

■一般会計（新規5件、拡充2件、組替1件）

（民生費）

※上段（）書きは補正前の額

拡充

老人福祉施設建設及び開設準備経費補助事業

（ 49,400 千円）

43,529 千円

■市民福祉部 福祉課

目 的

第6次高齢者健康福祉計画（介護保険事業計画、計画期間：平成27年度～29年度）に基づき、地域に必要な介護保険施設の整備を行う事業者に対し、その建設費及び開設経費を補助することにより、地域における介護基盤の整備を図る。

事業概要

地域密着型特別養護老人ホームを整備する事業者に対し、県基金を財源として補助を実施しているが、県の補助基準単価改正に合わせて補助金を増額する。

三隅圏域 1ユニット19床（増設、H29.2開設予定）

○施設整備補助金（1床あたり2,000千円 → 4,270千円）

○開設準備経費補助金（1床あたり600千円 → 621千円）

○財源：山口県医療確保法基金（県10/10）

予算書掲載頁 51

（農林水産業費）

新規

やまぐち森林づくり県民税事業

5,260 千円

■経済観光部 農林課

目 的

山口県では、県民との協働による「安全で快適な暮らしを守るための森林の整備」という新たな森林づくりを進めており、本市においても「やまぐち森林づくり県民税」を活用して更なる森林整備活動を進めることで、手入れが行き届かず荒廃が深刻化する森林を健全な姿で次の世代へ引き継ぐ。

事業概要

観光地周辺の景観保全及び生活環境の安全性向上のための森林整備を実施するとともに、森林ボランティア等への貸出を目的とした竹粉碎機を導入する。

○地域が育む豊かな森林づくり推進事業（県10/10）

・仙崎地区 紫津浦自然研究路・さくらの里枯損木の伐採等

・俵山地区 繁茂した竹の伐採・登山道の修景伐等

○地域森林づくり活動強化対策事業（県10/10）

・竹粉碎機の導入、貸出

予算書掲載頁 63

（商工費）

新規

俵山地域拠点整備事業

7,781 千円

■経済観光部 観光課

目 的

俵山温泉バス停横にある民間所有の待合所は、路線バスを利用する地域住民や市内外から訪れる観光客との交流が生まれる地域コミュニティ形成の場となっているが、老朽化により9月に解体されることから、県の拠点化・ネットワーク化基盤整備支援事業を活用して新たなコミュニティ施設を整備する。

事業概要

待合所解体後の跡地に新たなコミュニティ交流施設を整備する。

○俵山温泉コミュニティ交流施設の整備

情報発信機能を備えた憩いのコミュニティスペースや温泉街の雰囲気を楽しむための縁側ベンチを設置。

○公衆トイレの外観の改修

新設の交流施設と隣接する公衆トイレの一体感を出すため、公衆トイレの外観を和風調にリニューアルする。

○財源：拠点化・ネットワーク化基盤整備支援事業費補助金（県1/2）

予算書掲載頁 67

(教育費)

新規

生活習慣マネジメント・サポート事業

1,396 千円

■教育委員会 生涯学習スポーツ振興課

目 的

「早寝早起き朝ごはん」国民運動により、幼児、小学生を中心に子どもの生活習慣の改善に大きな効果があったが、中高生の睡眠習慣等についてはまだ課題があり、生活習慣の乱れが、将来的な自立に影響を与えるリスクがある。このため、国の委託事業を活用し、中高生を中心とした生活習慣改善に関する取組を推進する。

事業概要

学校や地域、大学の研究機関等の関係者による地域協議会を組織し、中高生の生活習慣改善に向けた実態調査や生活習慣に関する講演会等を開催する。

○文部科学省委託事業（H27～H28、国10/10）

官民連携による子どもの生活習慣づくりに関する全国的な普及啓発を行うとともに、新たに中高生を中心とした子どもの自立的な生活習慣づくりを推進するため、家庭と学校、地域の連携による生活習慣改善のための実証研究（中高生を中心とした生活習慣マネジメント・サポート事業）を全国6地域において実施。

予算書掲載頁 73

➤その他の主な事業

(総務費・教育費)

新規

いじめ問題対策連絡協議会等設置事業

211千円

■企画総務部 総 務 課
■教育委員会 学 校 教 育 課

(農林水産業費)

組替

ため池緊急防災体制整備促進事業

7,537千円

■経済観光部 農 林 課

(商工費)

拡充

俵山温泉まちづくり交流施設整備事業

(7,104千円)
1,384千円

■経済観光部 観 光 課

(教育費)

新規

香月泰男美術館モニュメント修復・移設事業

3,316千円

■企画総務部 企 画 政 策 課

■特別会計

特別会計については、人件費及び事業費精算に伴う各種返還金の計上となっていますが、介護保険事業のみ制度改正に伴うシステム改修経費を新たに計上しています。